

「東郷学園義務教育学校の藤川天神史跡活用の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校
2. 学年・人数	4年生 47人
3. 日時・場所	(1) 学習会等の日時・場所 令和7年2月20日 東郷学園義務教育学校4年1組・2組教室 (2) 発表の日時・場所 令和7年2月27日 藤川天神
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 藤川天神（ふじかわてんじん）：生保四年（1647年）に再興 臥竜梅（がりゅうばい） (2) 特徴 藤川天神の祭神は学問の神様として親しまれる菅原道真公である。道真公が太宰府に左遷され、さらに逃れて藤川北野の地に隠退、没したと言われ、毎年、大晦日から三が日は大勢の初詣客で賑わい、また受験シーズンには合格を祈願する受験生等で賑わいを見せる。 境内の梅園には、約150本の梅の木があり、このうち50株の梅はその幹を地上に伏せ、その姿がまるで竜のように見えることから「臥竜梅」と呼ばれている。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	ふるさと東郷には、多くの歴史や文化があり、現在までそのよさやすばらしさを継承している。 4年生児童が行う観梅会には、テレビや新聞等多くの報道関係者が訪れ、梅の名所である藤川天神を県下にPRする。また、児童の作った句は、境内の茶屋に掲示され、観光客からも好評である。4年生児童にとって、観梅会は思い出深い行事の一つとなっている。
6. 取組の様子（研究発表等）	令和6年度は、2月27日実施の予定。写真は、令和5年度のもの。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 藤川天神の説明を受ける児童 自作の句を詠む児童 </p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【令和5年度参加児童】 <ul style="list-style-type: none"> 梅は散っていて残念だったけれど、満開の梅を思い出しながら、作ってきた俳句を藤川天神で詠みあげることができてよかった。 みんなに注目されて緊張したけれど、よくお参りに来る藤川天神だったので、教室で考えていた時よりは、落ち着いて発表できてよかった。また、来たいと思う。